

情報革命で人々を幸せに



2026年5月

ソフトバンクグループ株式会社(東証プライム市場 9984)

## 免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社(以下「SBG」)及びその子会社(以下SBGと併せて「当社」)並びに関連会社(以下当社と併せて「当社グループ」)に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。証券の募集、購入の申し出の勧誘、又は証券の売出しは、1933年証券法(その改正を含む。以下、「証券法」という。)の登録要件に従って行われます。本資料に含まれる情報は、証券法ルール135に従って記載されるものです。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド(下記で別途定義)並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、Arm及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」([https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor))をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業(SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。)に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR(米国預託証券)に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR(以下「ADR」)の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設定又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法(以下「証券取引所法」)で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

## 本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited(以下「SBGA」)、SB Investment Advisers (UK) Limited(以下「SBIA」)及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社(以下併せて「SBファンド運用会社」)により運用されるいずれかのファンド(文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」)のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」)、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」)及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」)を含みます。

SBファンド(ビジョン・ファンド1及び、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因(例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。)に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

ビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ個別独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

# 会社概要

(2026年3月末)

|                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 商号                 | ソフトバンクグループ株式会社           |
| 設立年月日              | 1981年9月3日                |
| 本社所在地              | 東京都港区海岸1-7-1             |
| 代表取締役 会長兼社長執行役員    | 孫 正義                     |
| 従業員数               | 276人(連結ベース約7.4万人)        |
| 証券コード              | 東京証券取引所<br>プライム市場(9984)  |
| 単元株式数              | 100株                     |
| 2026年度1株当たり配当金(予想) | 中間配当金 5.5円<br>期末配当金 5.5円 |

株価 7,491円

時価総額 42.8兆円

格付(長期発行体格付)

日本格付研究所(JCR)

A

(見通し:ネガティブ)

S&P

BB+

(見通し:ネガティブ)

※ 株価、時価総額および格付:2026年5月29日時点





情報革命で人々を幸せに



# ソフトバンクの事業変遷ーグローバルな投資持株会社に

変わらぬビジョン:「情報革命で人々を幸せに」

孫正義がソフトバンクを立ち上げ。名前の由来は「ソフトウェアの銀行」



PCソフトの卸売業

1981年創業



パソコン時代の到来

SBKK:ソフトバンク SVF:SoftBank Vision Fund

1996年:ヤフー事業開始  
2000年:アリババへの投資



2001年:Yahoo! BB ADSL事業開始  
2004年:日本テレコム買収



2005年:ホークス買収



インターネット・ブロードバンド事業

1996年～2005年



日本のブロードバンドの普及をサポート

2006年:ボーダフォンジャパン買収

 SoftBank



2008年:iPhone発売(日本初)

2013年:米国スプリント買収



2014年:アリババグループ上場



モバイルブロードバンド

2006年～2014年



モバイル事業を通じて生活を豊かに

2016年:英国半導体設計大手アーム買収



2017年:SVF1始動  
2019年:SVF2始動

2018年:SBKK上場 

2020年:スプリント、T-モバイルと合併



2023年:アームナスダックに再上場



Data and AI

2015年以降



AI革命の実現に向けて

2025年:Stargate Project発表  
クリスタル・インテリジェンス発表  
OpenAIへの大型投資完了



2025年:ABBロボティクス事業買収発表  
Ampere買収完了  
DigitalBridge買収発表



2026年:OpenAIへの大型投資発表



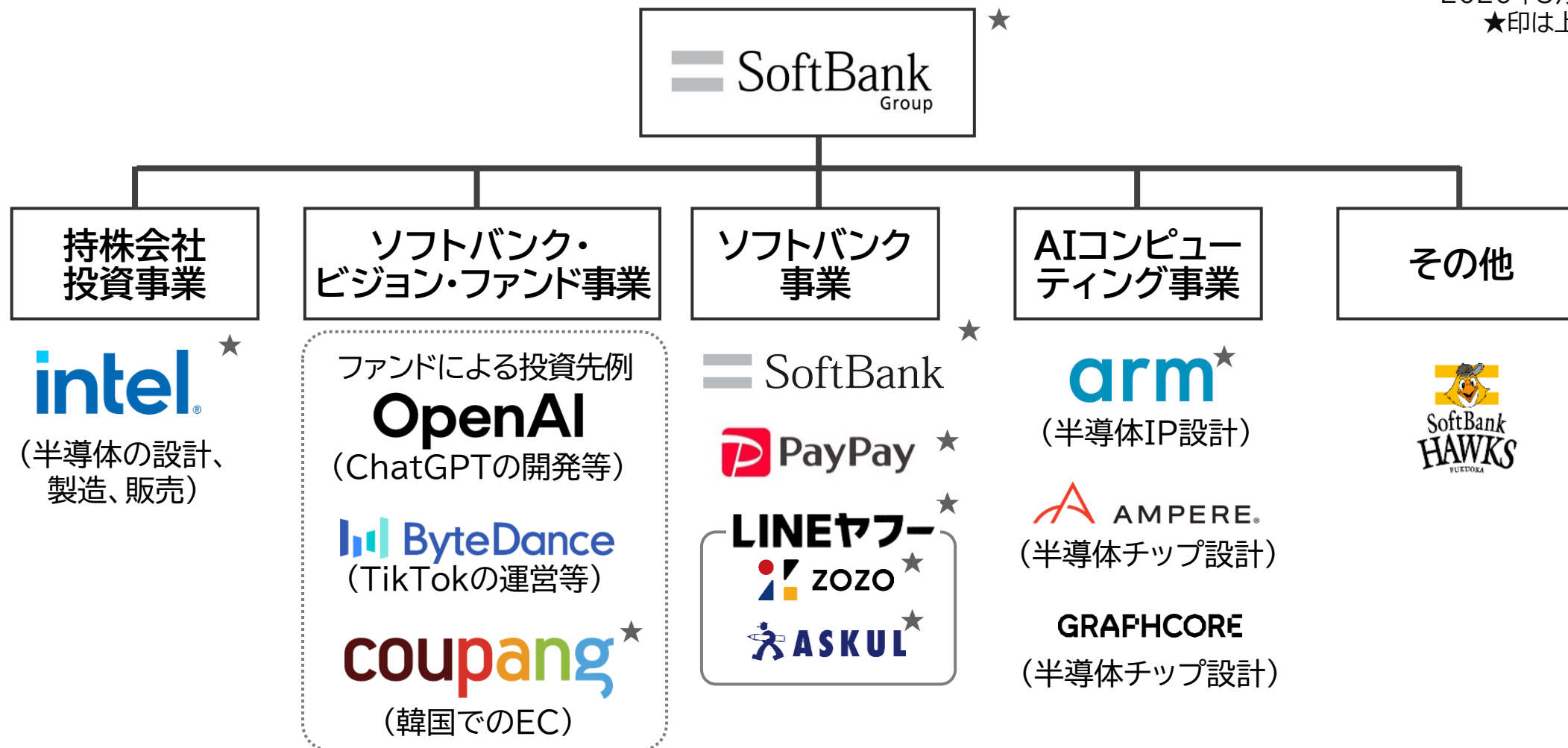
2026年:日米官民連携大型プロジェクト「PORTS Technology Campus」発表



# 事業セグメントおよびグループ企業

幅広い業種・地域に展開する企業群

2026年3月末現在  
★印は上場企業



A man with grey hair, wearing a dark grey suit jacket over a black turtleneck, is speaking. He is gesturing with his right hand, palm facing up. The background is dark.

# ASIのNo.1 プラットフォームへ

2025年6月27日 株主総会

# 本格始動

AIモデル

AIチップ



フィジカルAI

AIインフラ

AIモデル

OpenAI

26年10月に累計投資額\$64.6Bへ  
戦略的協業を拡大中

チップ

インフラ

AIモデ

# AIチップ

**arm**



Arm自社CPUチップ発表  
Ampere買収完了

フィジカル

フィジカルAI

ロボHD **ABB** Robotics

ロボティクス投資先約20社の集約完了  
ABBロボティクス買収発表

チップ

インフラ

AIモデル

AIインフラ

＝ SB Energy

フィジカル

日米官民連携大型プロジェクトを発表  
SB Energy DCサイトの建設進展

AIモデル

OpenAI

AIチップ

arm



ASI

フィジカルAI

ロボHD

ABB Robotics

AIインフラ

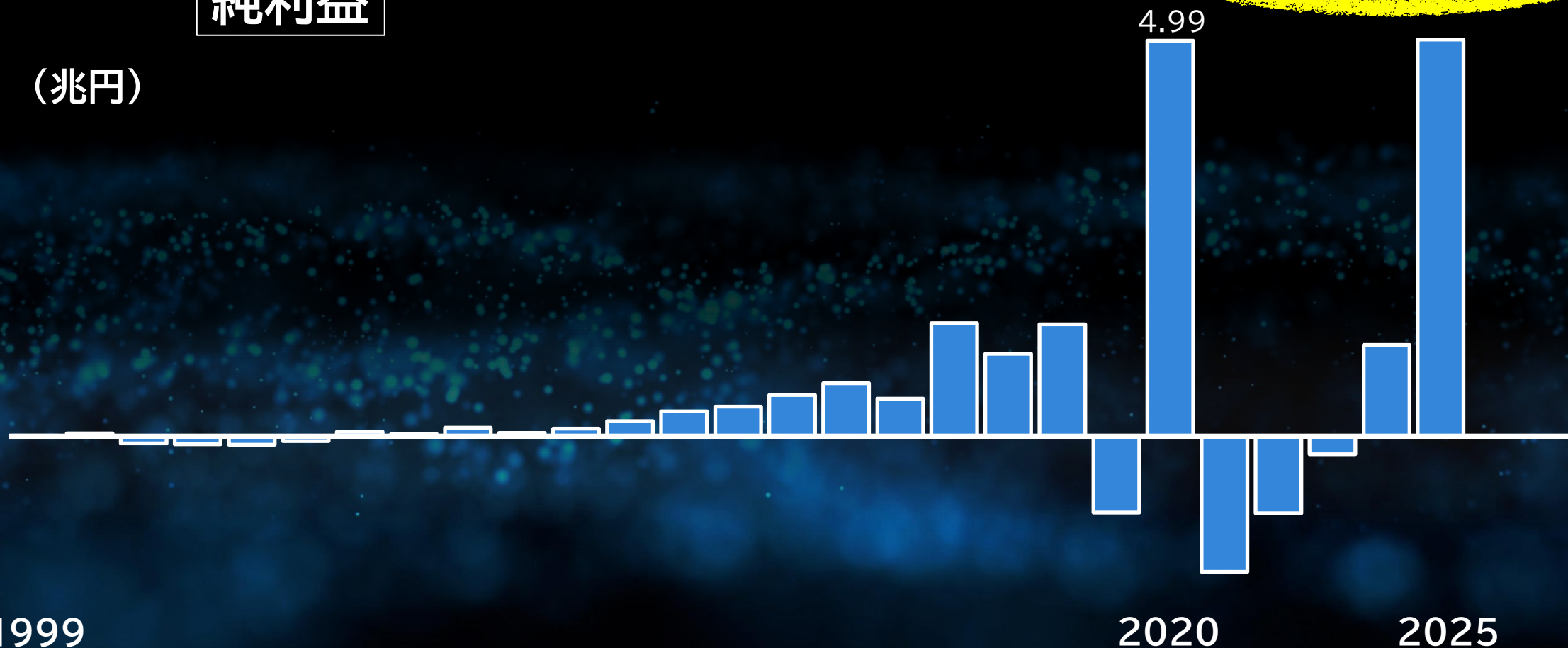
SB Energy

# 当社史上最高益

純利益

(兆円)

5.00兆円



1999

2020

2025

(年度)

# 日本企業として史上最高益

| 順位 | 社名                | 純利益       | 計上した決算期 |
|----|-------------------|-----------|---------|
| 1  | ソフトバンクグループ        | 50,023 億円 | 2025年度  |
| 1  | ソフトバンクグループ        | 49,880 億円 | 2020年度  |
| 2  | トヨタ自動車            | 49,449 億円 | 2023年度  |
| 3  | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 18,629 億円 | 2024年度  |
| 4  | NTT               | 12,795 億円 | 2023年度  |
| 5  | 三菱商事              | 11,807 億円 | 2022年度  |
| 6  | 三井住友フィナンシャルグループ   | 11,780 億円 | 2024年度  |
| 7  | ソニーグループ           | 11,416 億円 | 2024年度  |
| 8  | 三井物産              | 11,306 億円 | 2022年度  |
| 9  | 本田技研工業            | 11,072 億円 | 2023年度  |
| 10 | 東京海上ホールディングス      | 10,553 億円 | 2024年度  |

# 当社史上最大NAV

NAV

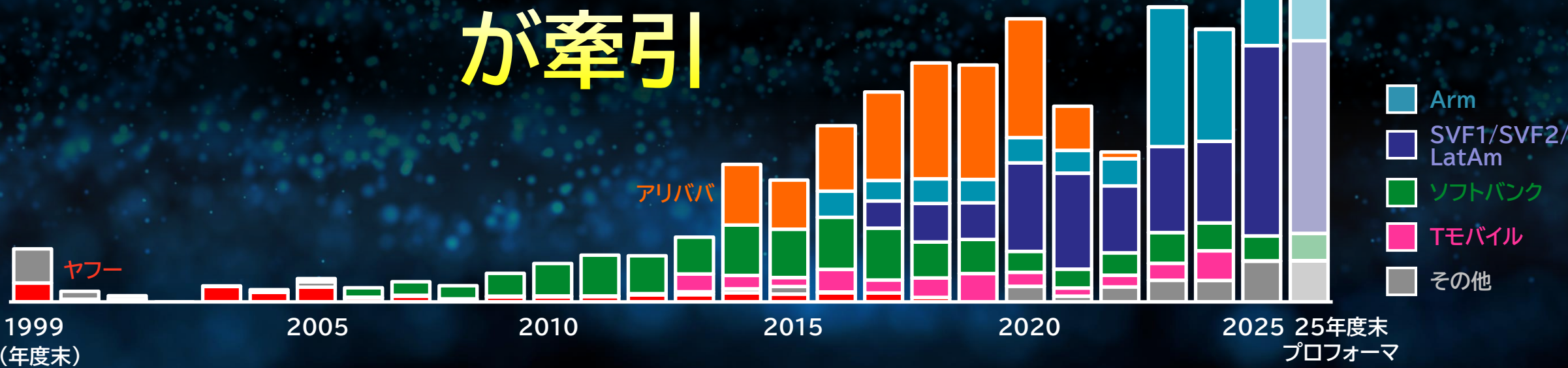
(兆円)

## arm OpenAI

### が牽引

40.1兆円

47.7兆円



各年度末時点の保有株式価値の割合で按分  
税金考慮前。保有株式価値およびSBGの純負債は、いずれもアセットバック・ファイナンス調整後  
2025年度末時点のNAVおよびそのプロフォーマの詳細は、それぞれAppendix「NAV・LTVの定義及び算出方法」を参照  
NAVの推移は、将来の数値を保証するものではなく、また、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではない。

2026年5月12日時点の  
株価・為替レート適用

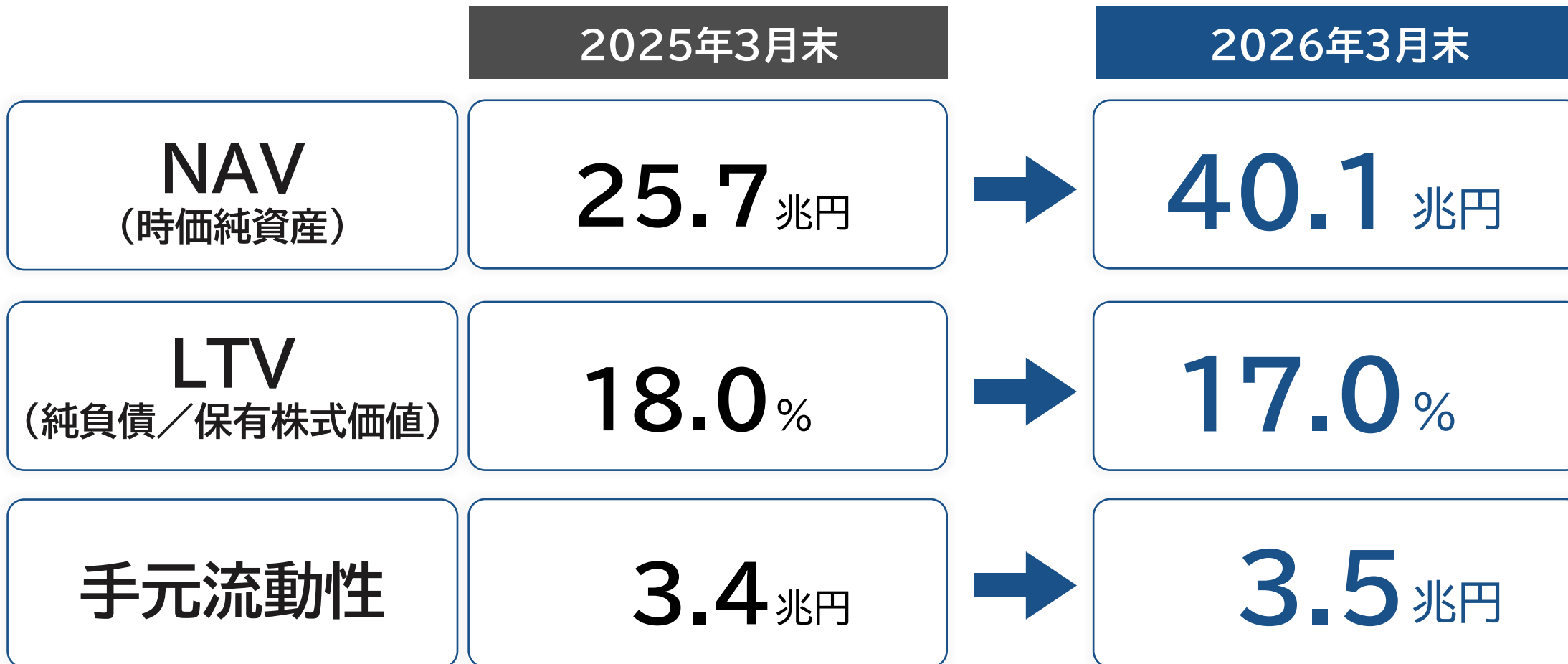
## 全ての利益項目で大幅増益

(億円)

|       | 2024年度 | 2025年度 | 増減額     |
|-------|--------|--------|---------|
| 売上高   | 72,438 | 77,987 | +5,549  |
| 投資損益  | 37,011 | 72,865 | +35,854 |
| 税引前利益 | 17,047 | 61,349 | +44,302 |
| 純利益   | 11,533 | 50,023 | +38,489 |

純利益:親会社の所有者に帰属する純利益  
端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある

## NAVは大幅増加、LTVや手元流動性は改善



NAVおよびLTVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2025年3月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法(2026年3月末時点)」を参照

手元流動性:現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+債券投資+借入枠の未使用金額。借入枠は2026年3月末時点で全額使用。SBG単体手元流動性に含まれる債券投資の一部を主な担保とした、SB Northstarによるプライムブローカレッジローン(PBローン)残高8,019億円を控除

企業概要: 半導体IP(電子回路の設計情報などの知的財産)の  
ライセンス事業を行う英国の会社

スマートフォンにおける半導体IPの  
99%以上がアームベース

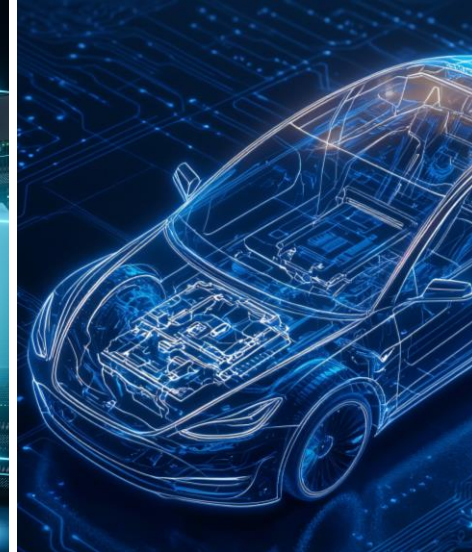


Apple (iPhone)、Google、  
Samsung、Oppoなど

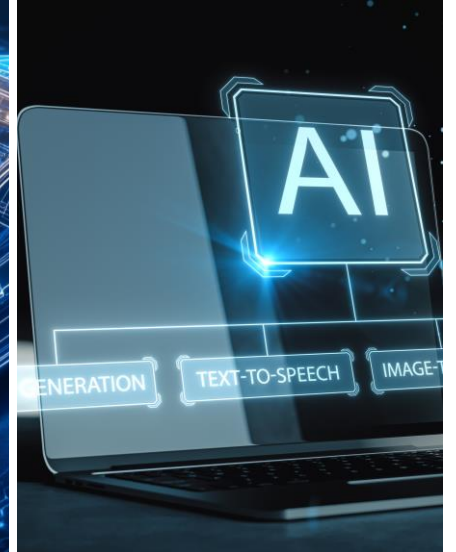
データセンター、自動車、PCにおける  
半導体IPでのシェアも拡大



Amazon、  
Google、NVIDIAなど



Tesla、  
Rivianなど

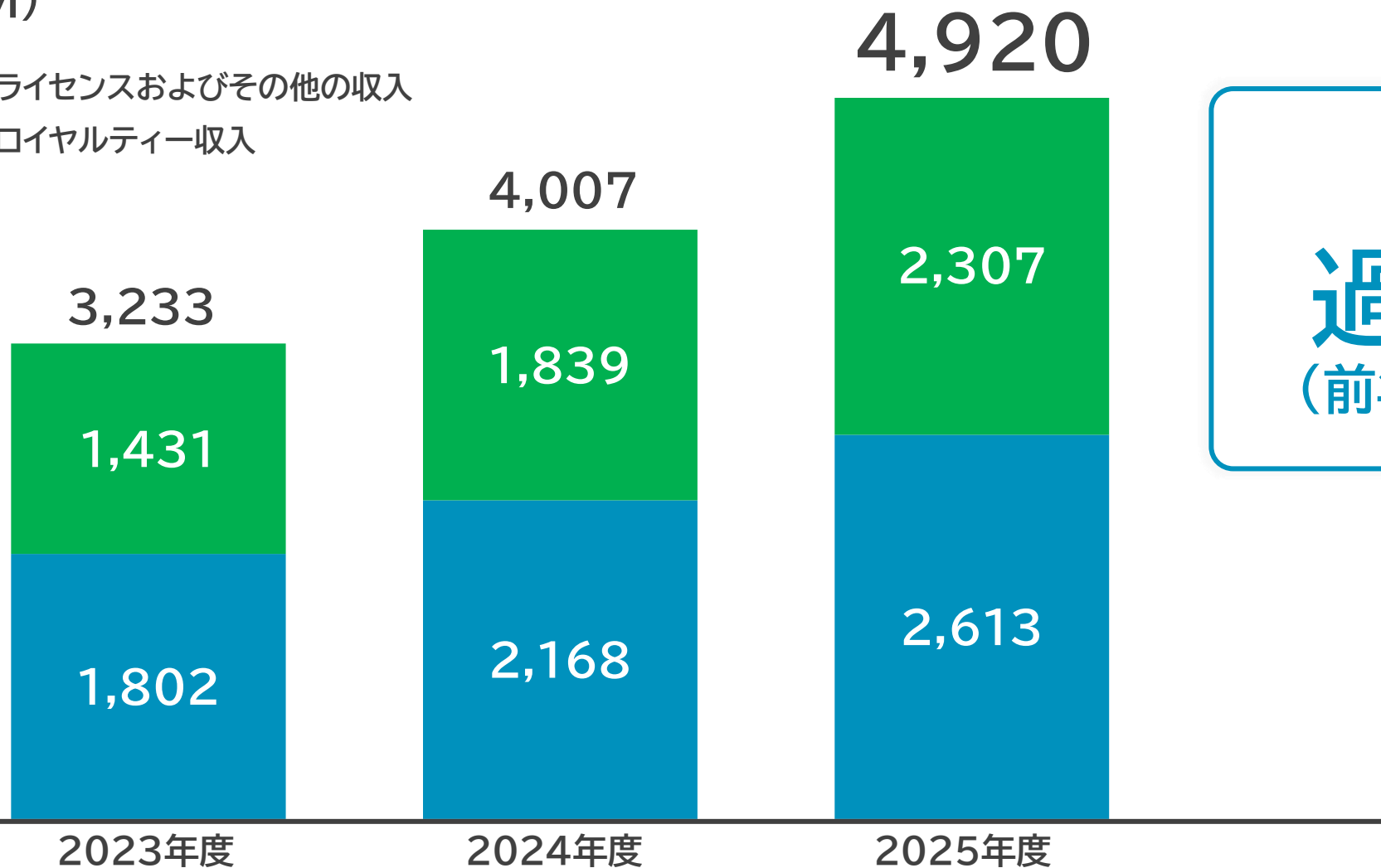


Microsoftなど

# 売上高

(\$ M)

- ライセンスおよびその他の収入
- ロイヤルティー収入

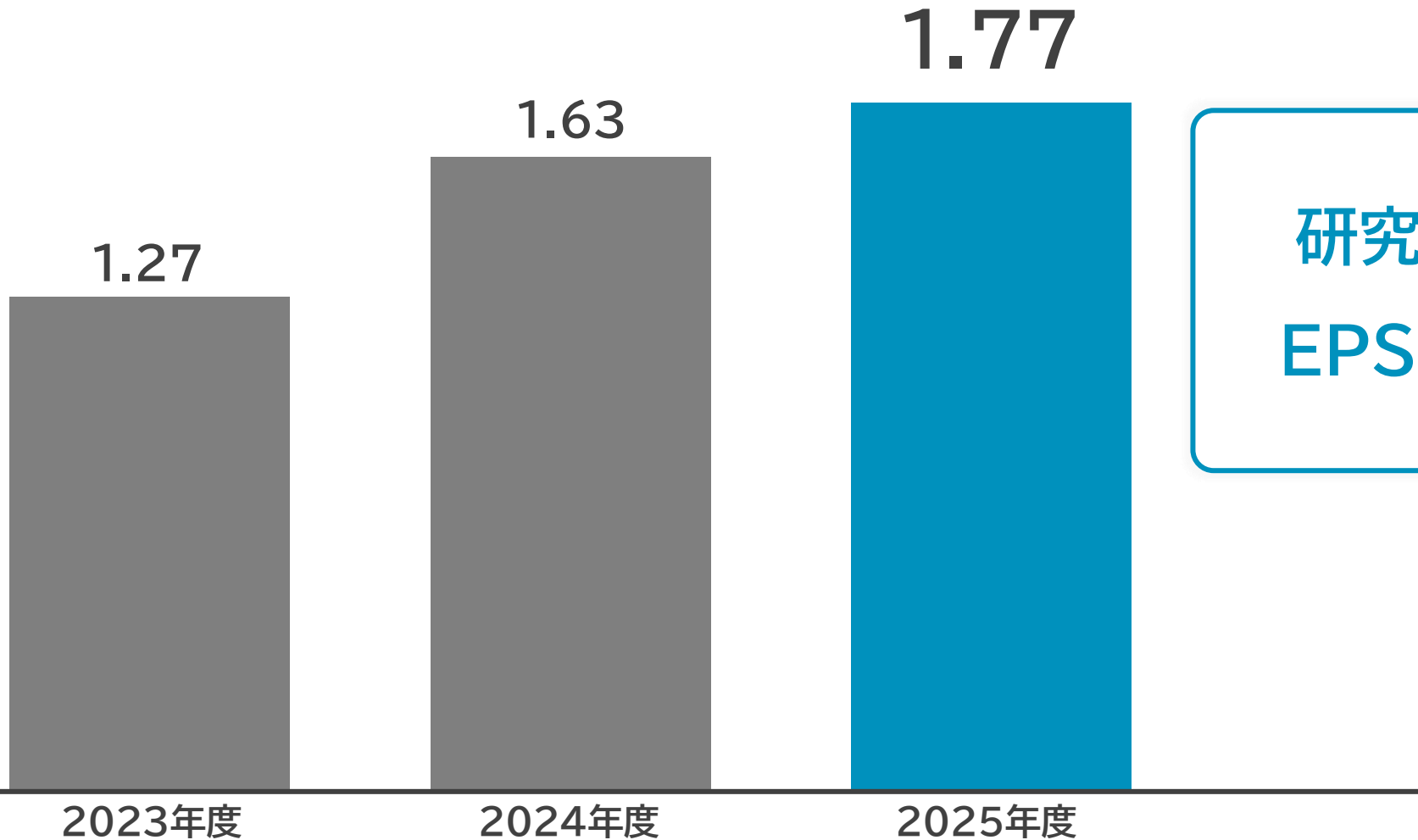


売上高  
過去最高  
(前年度比23%増)

(出所) Arm  
米国会計基準。ライセンスおよびその他の収入：ロイヤルティー収入以外の収入。詳細はArm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

# EPS(完全希薄化後)

(\$)



研究開発費大幅増も  
EPSは過去最高

(出所) Arm  
米国会計基準  
研究開発費はNon-GAAP Research and Development expenseを示す。EPSは調整後EPS(完全希薄化後)を指し、Non-GAAP fully diluted earnings per shareを示す。  
詳細はArm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

# Armは世界の半導体産業の基盤

arm



Armの技術を基にした

半導体チップ 設立来累計出荷数

3,500億超

商品やサービスを利用する世界人口

約70%

ソフトウェアの開発者数

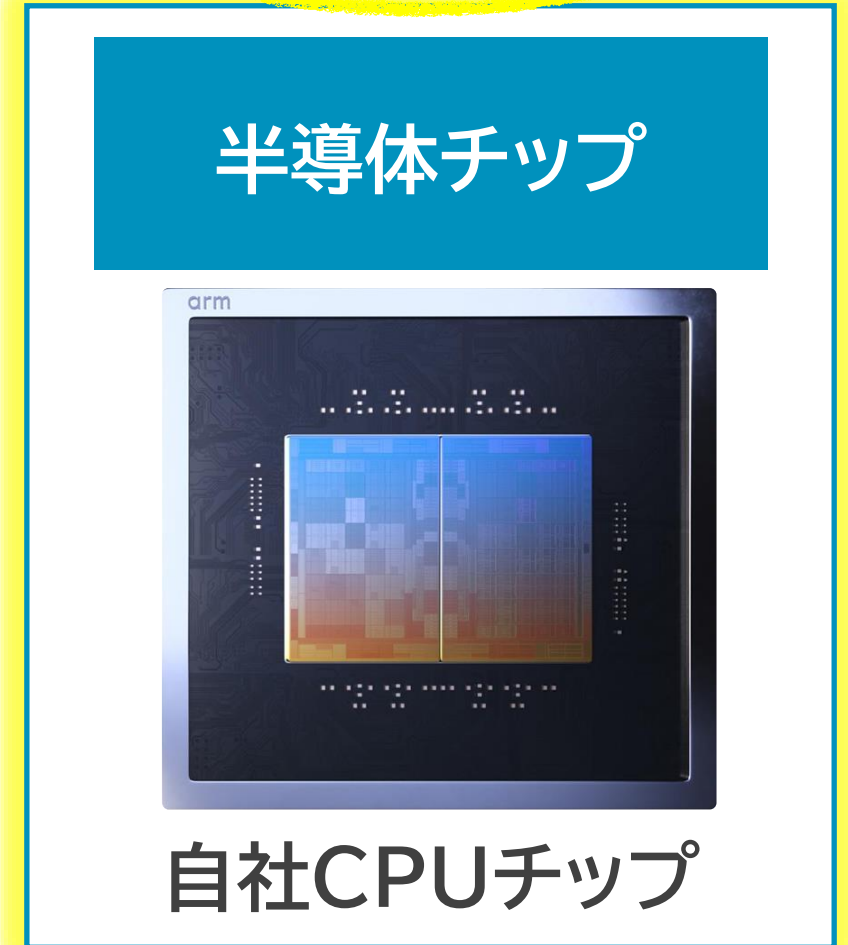
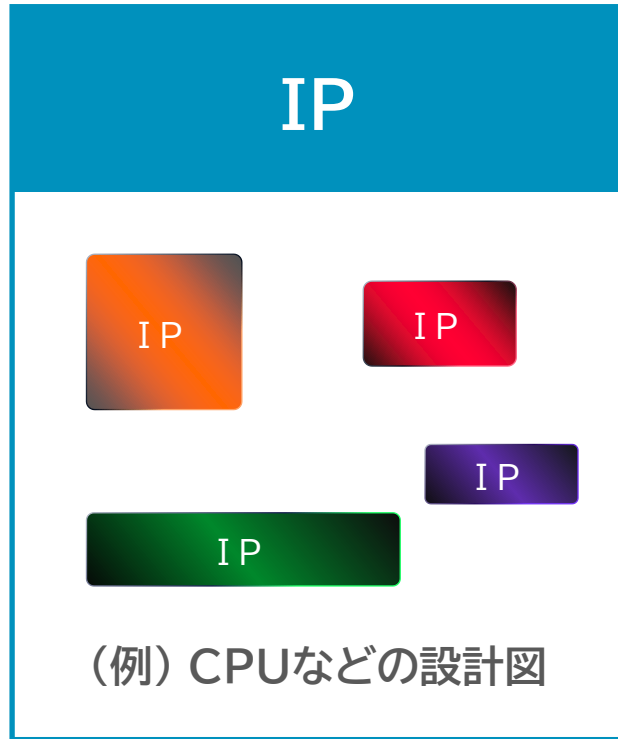
2,200万人

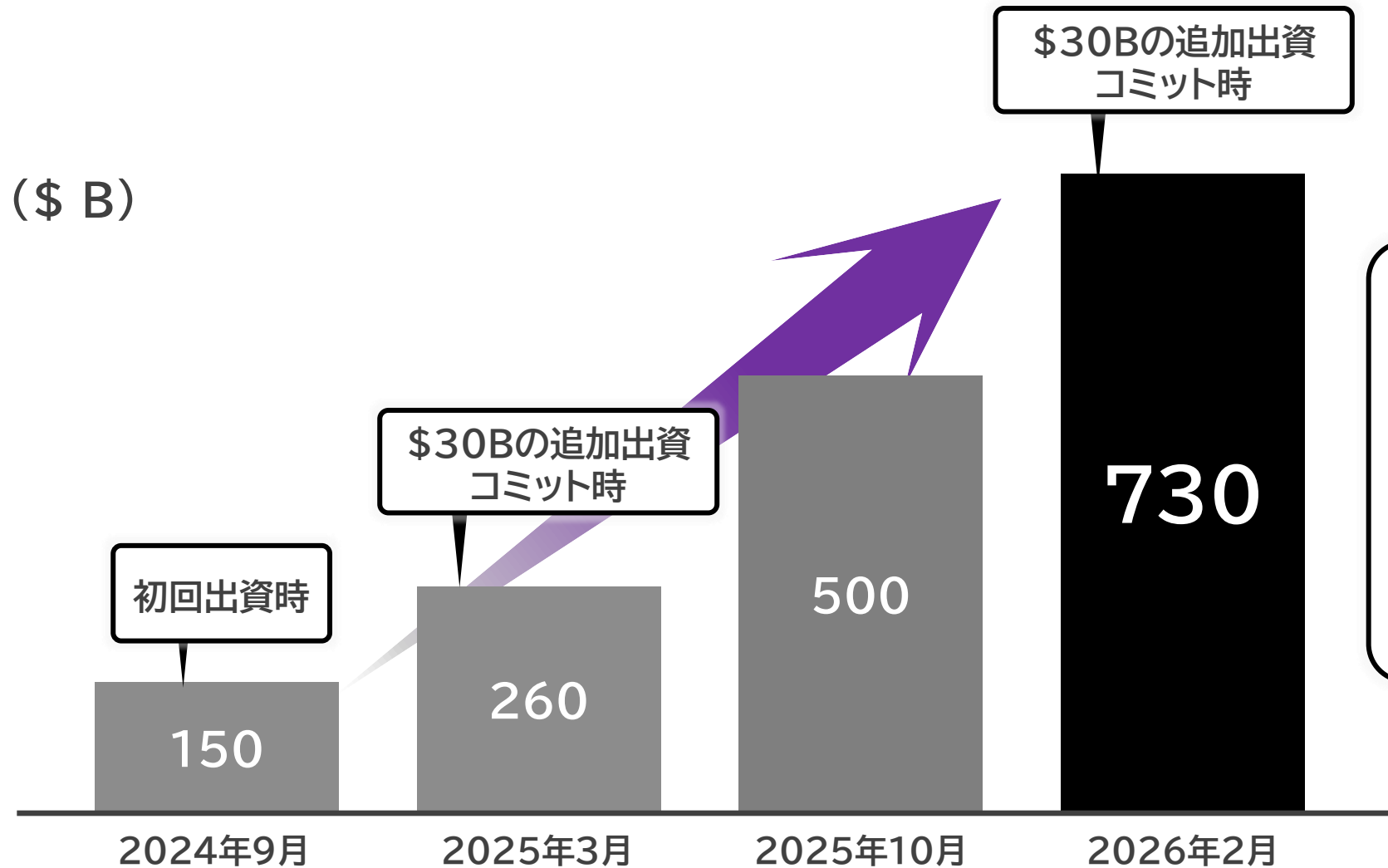
# 初の自社CPUチップを発表

arm

既存事業(ライセンス・ロイヤルティ)

新規事業



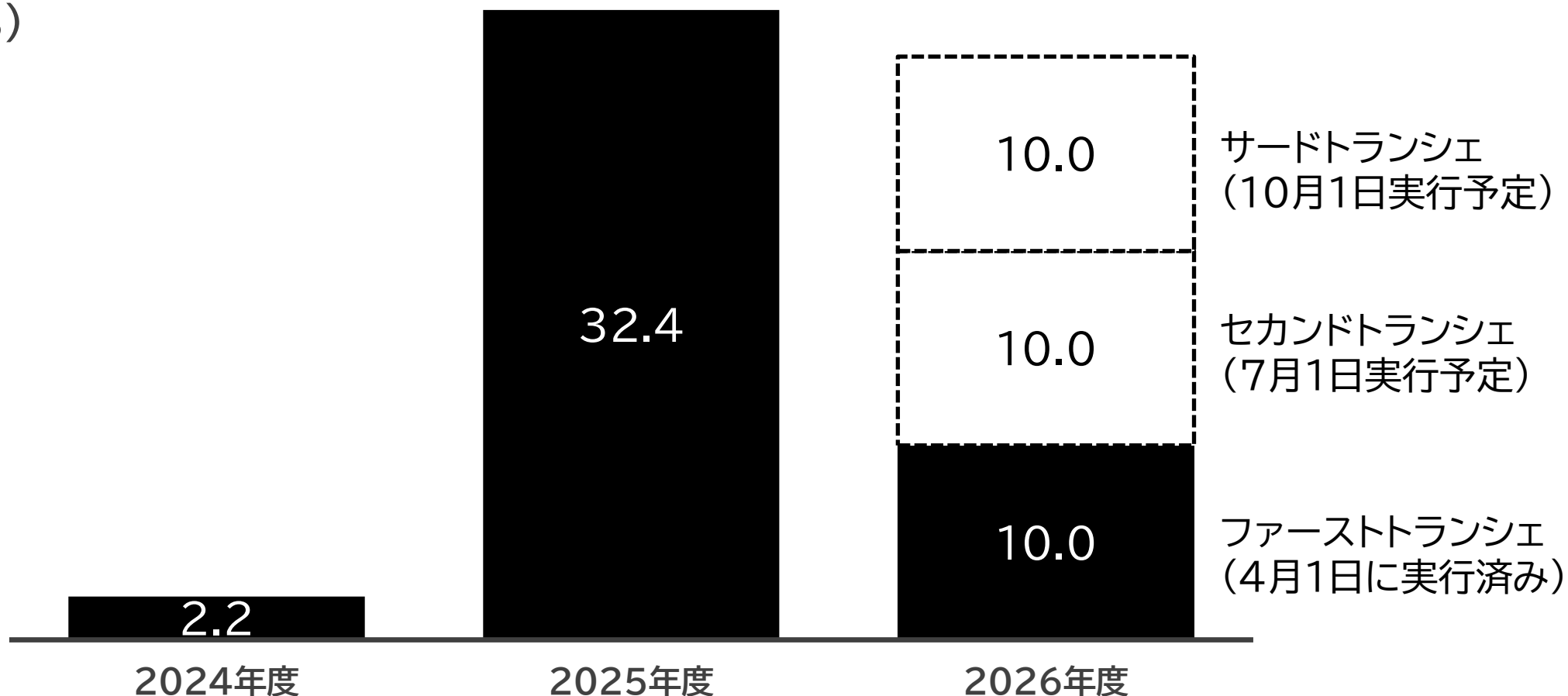


初回出資時から  
**約5倍**

\$150B: 2024年9月のOpenAIによる資金調達ラウンドにおけるプレマネーベースのバリュエーション。詳細はOpenAIブログ(2024年10月2日付)を参照  
\$260B: プレマネーベースのバリュエーション。詳細は2025年4月1日付プレスリリース「OpenAIへの追加出資に関するお知らせ」を参照  
\$500B: 2025年10月に行われた従業員持分の売出しのバリュエーション  
\$730B: プレマネーベースのバリュエーション。詳細は2026年2月27日付「OpenAIへの追加出資に関するお知らせ」を参照

\$30B追加出資完了後、累計投資額\$64.6B、持分は約13%に

(\$ B)







# 2026年3月 米国オハイオ州 PORTS Technology Campus 世界最大規模 発電・DCの一体開発 発表

# 米国エネルギー省、米国商務省、SB Energy、 AEP Ohioによる官民連携AIインフラプロジェクト

電力

10GW

東京都の  
平均電力需要を上回る

データセンター

10GW

英国・日本・韓国の設置済み  
DC容量合計(9.2GW)を上回る

(出所) 東京都の平均電力需要を上回る規模:2023年度の都内電力消費量 762億kWh を 8,760時間で除して平均約8.7GW。詳細は環境省のウェブサイト「都内における再生可能エネルギーの利用状況」を参照  
英国・日本・韓国の設置済みDC容量合計(9.2GW)を上回る:International Energy Agency (IEA)のウェブサイト「Energy and AI Observatory」(2025年6月16日更新)。英国(2.59GW)、日本・韓国(6.58GW)  
の設置済みデータセンターの総受電容量  
詳細はU.S. Department of Energyによる2026年3月20日付発表「Energy Department Announces Partnership to Ensure Affordable Energy and Power America's AI Future」を参照  
データセンター容量10GWは総受電容量を指す



このプロジェクトは産業全体を刺激し  
私たちの生活のあらゆる分野においてイノベーションを加速させる

これが我々の「超知能の中心」となる

# 充実したフィジカルAIポートフォリオ

## ロボHD傘下を含め、合計30社超に投資

### 自律モビリティ



nuro



Aurora



他

### 自動化インフラ

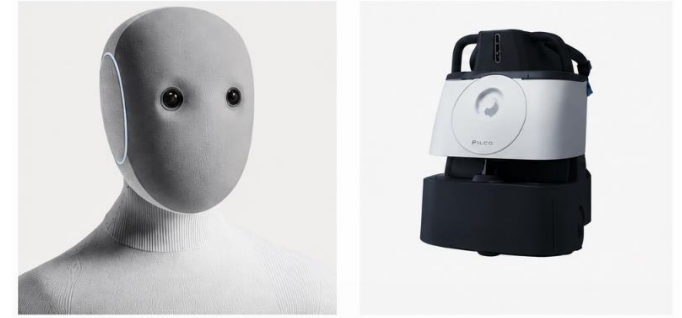


BALYO



他

### ロボット



JAKA



他

# ABB Robotics

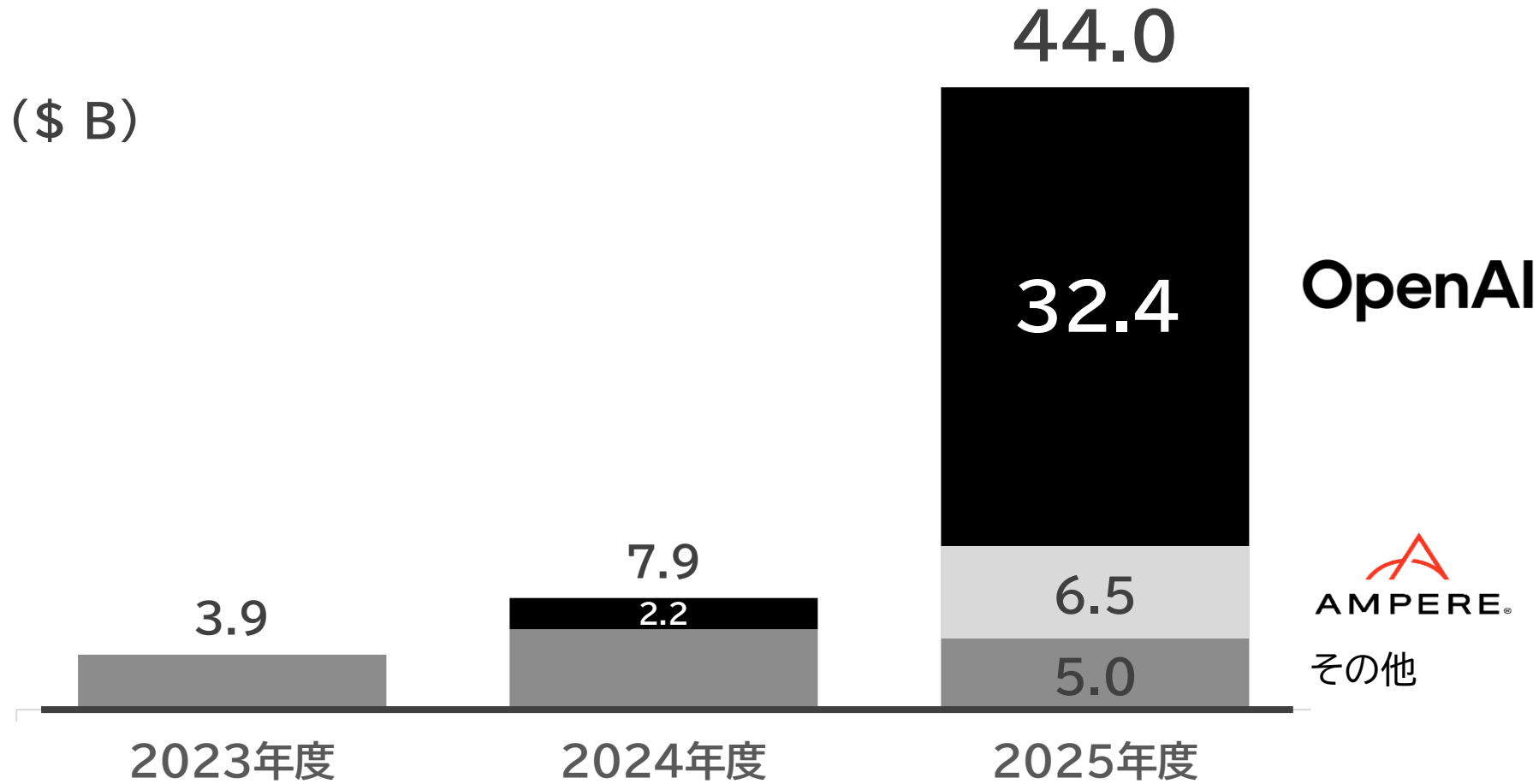


2025年10月

**\$5.4Bで買収発表**

2026年後半に買収完了予定

# 投資額 (SBG+SVF)



SBG投資額およびSVF投資額の合計

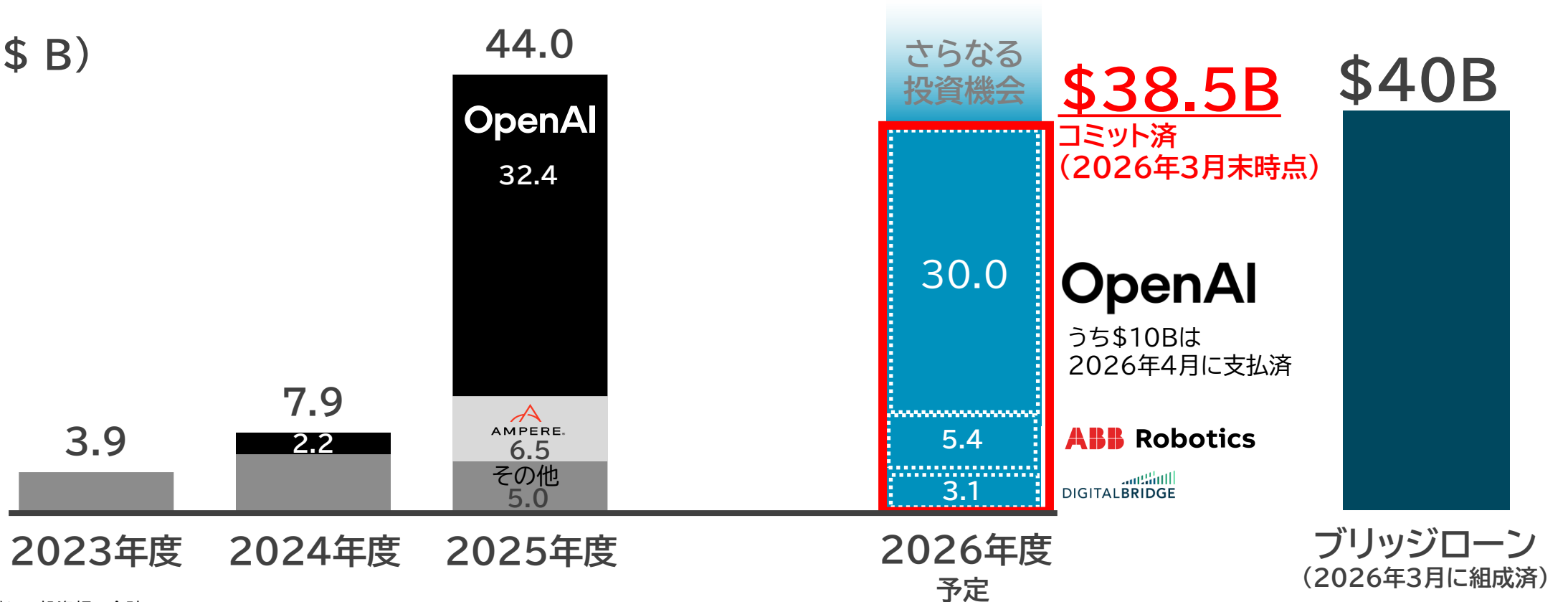
SBG投資額: SBG、主な100%子会社およびロボHDからの投資額(グループ内取引および債券投資の投資額を除く)。Amperelについては、同社買収のためにArmへ支払った金額を含む支出額。その他の子会社化した投資については、連結キャッシュ・フロー計算書上の「子会社の支配獲得による収支」

SVF投資額: 連結キャッシュ・フロー計算書上の「SVFの投資の取得による支出」。ただし、OpenAIについては間接出資分を含み、売却額をネットして表示

# コミット済み投資をカバーするブリッジローンを組成済み

## 投資額(SBG+SVF)

(\$ B)



SBG投資額およびSVF投資額の合計

SBG投資額: SBG、主な100%子会社およびロボHDからの投資額(グループ内取引および債券投資の投資額を除く)。Ampereについては、同社買収のためにArmへ支払った金額を含む支出額。その他の子会社化した投資については、連結キャッシュ・フロー計算書上の「子会社の支配獲得による収支」

SVF投資額: 連結キャッシュ・フロー計算書上の「SVFの投資の取得による支出」。ただし、OpenAIについては間接出資分を含み、売却額をネットして表示

## 財務方針に変更なし

通常時 **LTV25%未満** で運用（異常時でも上限35%）

少なくとも **2年分の社債償還資金** を保持



次の30年、われわれはAI革命の  
中心となることを目指す

AIモデル

OpenAI

AIチップ

arm



ASI

フィジカルAI

ロボHD

ABB Robotics

AIインフラ

SB Energy

A large, multi-masted sailboat is sailing on a dark blue sea under a dramatic sunset sky. The sun is low on the horizon, creating a bright, shimmering path of light across the water. The sky is filled with scattered, golden-lit clouds. The overall mood is serene and adventurous.

私達の旅は  
まだ始まったばかり



# 情報革命で人々を幸せに





# NAV・LTVの定義及び算出方法 (2026年3月末時点)

## 1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

## 2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Arm: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAm: LatAmのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- Tモバイル: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- その他: (a) + (b) + (c)
  - (a) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
  - (b) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
  - (c) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分。ただし、SB Northstarの純有利子負債はSBGの純有利子負債に含まれるため、同社NAVの算出には含まない

## 3. 純負債 (アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債には銀行子会社(PayPay銀行(株)およびLINE Bank Taiwan Limited)の銀行業の預金および手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: Arm、SVF1、SVF2、LatAm及びソフトバンク(同子会社を含む)等の独立採算子会社等の有利子負債合計から手元流動性を減算
- その他調整: 以下の(d)~(h)の調整額の合計
  - (d) ハイブリッド債及びハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除
  - (e) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入
  - (f) Arm株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
  - (g) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
  - (h) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除

## 4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

## 5. その他

- 株価: 2026年3月31日終値
- 為替: 1ドル = 159.88円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、Arm = Arm Holdings plc、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAm = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

# NAV・LTVの定義及び算出方法（2025年度末プロフォーマ）

## 1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

## 2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Arm: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAm: LatAmのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- Tモバイル: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- その他: (a) + (b) + (c)
  - (a) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
  - (b) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
  - (c) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分。ただし、SB Northstarの純有利子負債はSBGの純有利子負債に含まれるため、同社NAVの算出には含まない

## 3. 純負債 (アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債には銀行子会社(PayPay銀行(株)およびLINE Bank Taiwan Limited)の銀行業の預金および手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: Arm、SVF1、SVF2、LatAm及びソフトバンク(同子会社を含む)等の独立採算子会社等の有利子負債合計から手元流動性を減算
- その他調整: 以下の(d)~(h)の調整額の合計
  - (d) ハイブリッド債及びハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除
  - (e) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入
  - (f) Arm株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
  - (g) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
  - (h) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除

## 4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

## 5. その他

- 株価: Arm、ソフトバンク、Tモバイルについては2026年5月12日終値、その他の上場株式については2026年3月31日終値
- 為替: 1ドル = 157.42円 (2026年5月12日)
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、Arm = Arm Holdings plc、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAm = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

# NAV・LTVの定義及び算出方法 (2025年3月末時点)

## 1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

## 2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Arm: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAm: LatAmのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- Tモバイル: SBGの保有株式数 × 同社株価
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - 同社株式を活用した複数の先渡売買契約(フォワード契約)のうち未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- その他: (a) + (b) + (c)
  - (a) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
  - (b) 非上場株式: SBGが保有する非上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
  - (c) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分。

## 3. 純負債 (アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: アーム、SVF1、SVF2、LatAm及びソフトバンク(同子会社を含む)等の独立採算子会社等の有利子負債合計から手元流動性を減算
- その他調整: 以下の(d)~(i)の調整額の合計
  - (d) ハイブリッド債及びハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除
  - (e) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入
  - (f) Arm株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
  - (g) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
  - (h) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
  - (i) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除

## 4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

## 5. その他

- 株価: 2025年3月31日終値
- 為替: 1ドル = 149.52円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、Arm = Arm Holdings plc、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAm = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アリババ = Alibaba Group Holding Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。